

2020年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号
01010102

1. 計画名称

茅野市高齢者保健福祉計画(一般会計分)

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	やや遅れている	説明	2019年度の後半以降、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を大きく受け、施策の中には、施策の柱を構成する主要事務事業が、当初の予定どおりに実施できていないものがある。
今後の重点化施策番号	1	説明	在宅福祉の推進において、行政は、在宅での生活や介護がしやすい環境づくりを進める必要がある。さらに、地域の見守り体制の整備と併せ、高齢者の移動手段等が課題となっているため、施策4の推進とも関連付けて、外出支援サービスの見直しや、住民主体の外出・移動支援の体制づくりに向けた取組への支援などを検討していく必要がある。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	生活基盤・セーフティネットの整備による在宅福祉の推進	おおむね順調	外出支援の利用者のうち約8割が透析患者となっているものの、その他の利用者が利用できなくなるほどではなく、ニーズを満たしていると言える。 利用者数が減少傾向となっている原因は、利用者数も利用回数も多い透析患者が亡くなるなど減少したため。	外出支援の本来の目的は、外出困難な者の社会参加及び社会福祉の向上としている。透析患者の通院が利用の約8割を占めている現状が、その目的に資するか、引き続き議論が必要である。外出支援事業が100%一般財源であることも注意が必要。	外出支援について、透析患者が主に利用する諏訪中央病院に財源を負担していただけないかなど、利用実態に合わせた財源確保を議論する。また、福祉21茅野「外出支援」ワーキンググループにおいて議論されている市民有志による別の外出支援と併せて検討する。
2	健康増進による介護予防の推進	やや遅れている	各事業とも、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、受診率の低下や参加者の減少が見られた。	感染症予防対策を十分に実施し、安心して参加できる環境を整えることが必要。	参加人数の制限、消毒等の徹底、開催時間の短縮等により、感染症対策を実施する。
3	高齢者の社会参加と福祉的予防の推進	やや遅れている	高齢者クラブ助成は、活動休止以外の全てのクラブに実施。一方で、高齢者のいきがい対策、高齢者の通いの場の形成推進、地域介護予防活動支援いきいき健康ルーム等は、新型コロナ感染拡大の影響等で未実施又は縮小して実施した。	助成を受けた高齢者クラブは、感染症の影響で実質活動できていない。感染症対策を取りつつ、できる事業はなるべく実施していくことが必要。長期間に渡り高齢者の外出の機会等が失われることは避けたい。	いきいき健康ルームについて、参加人数の制限、消毒等の徹底、開催時間の短縮等により、感染症対策を実施する。また、高齢者クラブの利用が多い高齢者福祉センター塩壺の湯について、団体利用の制限を解除した際にも、安心して利用できるよう引き続き感染症対策を行う。
4	利用者本位の福祉サービスの取組と支援	おおむね順調	認知症高齢者家族相談、認知症サポーター養成、認知症初期集中チームの活動、ふれあい保健福祉事業については、昨年並みに実施した。また、位置検索装置の利用が1件みられた。	新型コロナウイルス感染拡大の影響で介護相談員の施設訪問を中止とし、地域ケア会議の開催を制限した。	ワクチン接種の進捗を見つつ、感染症予防対策を取りながら、事業の実施方法をその都度検討し、実施できるよう模索していく。
5	権利擁護の取組と支援	おおむね順調	新型コロナウイルス感染拡大の影響で介護相談員の施設訪問を中止とした。 成年後見支援事業においては、裁判所への市長申立が1件あり、昨年度から継続の3件と合わせ4件の費用助成を行った。	成年後見制度について、諏訪地域6市町村の中核機関(広報及び窓口)は各市町村に設置できているが、成年後見人の受任調整(後見人の受け手をどう選ぶかの調整)機能が無いため、今後の6市町村での検討課題となっている。	成年後見人の候補者擁立の課題については、諏訪地域6市町村の共通の課題であることから、6市町村で連携して関係者と検討を進めていく。

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			

5. 添付資料

別紙「施策評価シート」